

### 環境大臣・復興大臣が来村

12月25日に石原宏高環境大臣が、1月15日に牧野たかお復興大臣が来村しました。村はこの機会に両大臣へ要望書を提出し、懇談で現状を伝え意見を交わしました。

要望書の内容は「環境再生事業の理解醸成の推進」「脱炭素村づくりに向けた支援」「帰還困難区域の再生・発展支援」については共通で、環境大臣には「残存する未除染地の対応」、復興大臣には「復興財源の確実な確保」なども要望しました。

両大臣はそれぞれ、長泥地区も訪れ、環境再生情報ひろば(ながどろひろば)などを視察すると共に、地区の皆さんと言葉を交わし交流しました。



石原環境大臣(左から2人目)に要望書を提出。



牧野復興大臣(右から2人目)に要望書を提出。

## 百歳賀寿

### 佐藤ヨシノさんの百歳賀寿

賀寿の式は令和7年12月30日に福島市内の入居施設で行われ、多くの親族がお祝いに集まりました。式では中川副村長が村の褒状と祝金を贈り、県、飯館村社会福祉協議会、飯館村老人クラブ連合会からもお祝いが届けられました。

#### 佐藤ヨシノさん(八木沢・芦原)

大正14年12月30日生まれの佐藤さん。約30人の親族の皆さんに囲まれ和やかに、賀寿の式に臨みました。

若い頃は「夫婦で百姓をして、よく働いていた」そうです。佐藤さんは何をやっても器用で、仕事や家事の他、編み物なども手早くこなしていたそうです。現在は入居施設で、計算問題や塗り絵をして過ごしています。また、自分で車椅子をこぐこともあるというお達者ぶりです。

佐藤さんは飯館村で54人目の100歳です。令和8年1月1日現在、村には100歳以上の方が9人いらっしゃいます。どうぞこれからもお健やかに、ご長寿を重ねてください。

### 1月の村の動きと主なできごと

- 4日・飯館村消防出初式(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・仕事始め式 村長訓示(交流センター「ふれ愛館」)
- 11日・令和8年二十歳の成人式(交流センター「ふれ愛館」)
- 15日・牧野たかお復興大臣 来村(村役場・長泥地区)
- 18日・移住定住「暮らし体験ツアー」参加者交流イベント  
(東京都千代田区・3x3 Lab Future)
- 20日・農業委員会定例総会(村役場)
- 20日・福島イノベーションコースト構想企業立地セミナー  
(東京都千代田区・大手町プレイス)
- 24〜25日・あぶらまつ「いたての冬」(宿泊体験館きこり他)
- 25日・絵本ライブ(交流センター「ふれ愛館」)
- 26日・第1回飯館村地域再生計画事業評価委員会(村役場)
- 27日・「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業 明治大学委託事業活動報告会  
(交流センター「ふれ愛館」)
- 27日・第51回衆議院議員総選挙 公示
- 28日・第51回衆議院議員総選挙期日前投票 開始(村役場)
- 29日・第5回学校運営協議会(村役場)
- 29日・動画で学ぶはじめての読み聞かせ講座(交流センター「ふれ愛館」)
- 30日・株式会社マルナ力防災用品寄贈式(村役場)
- 31日・いたてプレミアム付ほのぼの商品券 販売開始(飯館村商工会館)

### MYSH株式会社 企業版ふるさと納税

1月14日、MYSH株式会社(本社:東京都港区/福島浜通り支社:南相馬市)から、企業版ふるさと納税(寄附)を行っていただきました。お申し出により、いたてっ子未来基金で活用させていただきます。

代表取締役CEOの向井裕人さんは、「飯館村は可能性にあふれ、チャレンジができる場所。それを多くの人に知ってほしいと考えています。子ども達がいきいきと暮らし、将来また戻って来たいと感じる村になってほしいと願っています」とふるさと納税に込めた思いを話していました。



杉岡村長に目録を手渡す向井代表取締役CEO。

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)は、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対して企業が行う寄附で、地方創生を応援しながら税の控除が受けられる仕組みです。飯館村ではホームページ上に情報を掲載し(右のQRコードから)企業版ふるさと納税を募集しています。

